

大沼商店街(豊田市) 【代表者:会長 小幡 勝明】

キャッチフレーズ

まちぐるみミュージアム・大沼

活性化モデル商店街としてのモデル性

観光地等の地域資源を主にまち全体を博物館化することで、広域から観光客を集客しようとする観光型商店街

商店街の将来ビジョン

大沼商店街は、下山地区に位置し、地域人口の減少や、集客の核的役割を担ってきた役場移転による集客力低下、豊田市中心部及び近隣都市への消費流出増大等の課題を抱えているが、周辺には三河湖、三河高原等の観光地や立志弘法、八十八ヶ所弘法など、さらには熊野神社の大祭や大沼雅楽などの地域の伝統行事など豊富な地域資源を有する。

こうした地域の観光資源等を活かし、まち全体をエコミュージアムとして博物館化することで、観光客など誰もが訪れてみたくなり、また、住民の誰もがまちに愛着と誇りのもてるまちづくりを推進することで商店街の活性化を図る。

- 1 大沼地区全体をエコミュージアムとして整備(名所づくり)、商店街への集客力向上と回遊する楽しみのあるまちづくりを推進
- 2 車での来街がしやすく、安心して歩ける個性的で魅力的な商業環境を形成
- 3 住民や行政、他のまちづくり団体等との協力体制を強化し、地域と商店街に誰もが利用しやすい様々な消費者サービスを導入
- 4 地域の歴史、文化、自然を活かした市場開発、顧客開発につながる活発な共同事業を実施
- 5 「あそこのアレ」と言われる強い商品、サービス(名物)をもつ魅力ある個店づくりを推進

具体的に取組む事業内容

コア施設整備(20年度)

まちぐるみミュージアム・大沼の拠点施設を整備する。店舗を一部改装し、エコミュージアムの本部的機能を持ち、ミュージアム全体の情報発信、総合案内センターを整備する。

朝市の実施(20年度～21年度)

コア施設周辺において、地元商業者による定期市(毎月第4日曜)を開催する。

駐車場と街路整備事業(21年度)

集客の入口となる商店街メイン街区と、エリア内に点在している観光資源等(サテライト)を見学するコース「発見の小径」を企画し、各サテライトについて誘導看板を設置し、「発見の小径」リーフレットを作成してPRを行う。